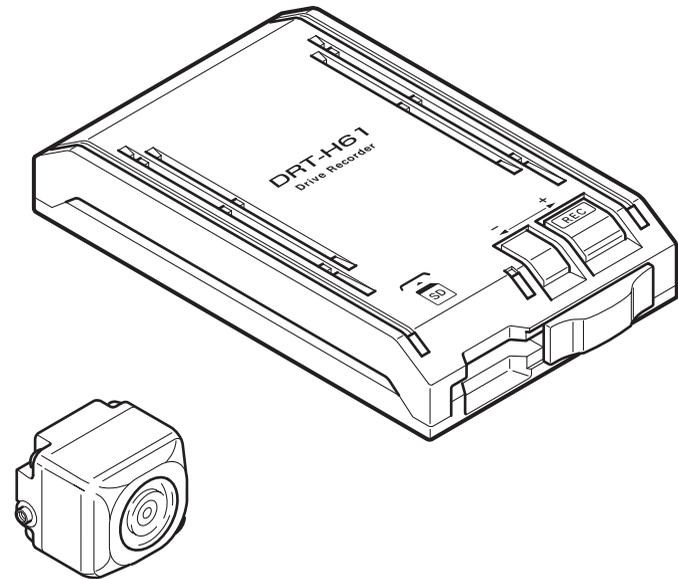


トヨタ純正

ドライブレコーダー

●トヨタ純正型番
DRT-H61

取扱書



お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容
に従って正しくお使いください。
本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

トヨタ自動車株式会社

富士通テン株式会社

090002-3353A700
1307MT(K)

トヨタ自動車株式会社

目次

安全に正しくお使いいただくために	3
使用上のご注意	7
各部の名称とはたらき	9
LED 表示、ブザーによる通知	
異常通知.....	10
正常通知.....	11
本体の操作方法	
起動する.....	13
終了する.....	14
映像と音声を記録する（記録モード）.....	15
記録した映像を見る（再生モード）.....	18
本体の設定を変更する（設定モード）.....	22

ビューアソフトの操作方法	
ビューアソフトをコピーする.....	25
記録した映像を見る.....	28
記録した映像をパソコンに保存する.....	37
記録した映像を SD メモリーカードから消去する.....	39
本体の設定を変更する.....	41
本体の日時を修正する.....	46
SD メモリーカードをフォーマットする.....	48
ヘルプを表示する.....	50
バージョン情報を表示する.....	51
ビューアソフトを消してしまった場合.....	52
よくある質問	53
本体.....	53
ビューアソフト.....	55
アフターサービスについて	57
仕様	58
本体.....	58
カメラ.....	58

ドライブレコーダー 取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 (修理メモ・保証継承情報等)	

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。

■安全に正しくお使いいただくために

この取扱書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本機は DC12V/24V ⊖アース車専用です。12V/24V 車以外では使用しない。
- 本機を分解したり、改造しない。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしない。
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しない。
事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は走行中に SD メモリーカードの抜き差しやスイッチ操作をしない。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるため故意に危険な運転をすることなどは、絶対にやめる。
- 機器内部に水や異物を入れない。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機、カメラに触れない。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しない。
- カード挿入口に異物を入れない。
火災や感電の原因となります。

注意

- 本機の取り付け場所変更時は、安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
再取り付け時にはオフセット設定が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、危険運転の際の状況を記録することが目的です。イタズラその他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与える、落とす、上に重いものをのせることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- カード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- 直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- フロントガラスのお手入れの際は、カメラの固定具およびカメラのコードを強く引っ張らないでください。
カメラの固定具がはずれるおそれがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。)
- クリーナーなどのスプレーや水分等を本機にかけないでください。

本機について〔必ずお読みください〕

- 本機は衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を記録することを保証したものではありません。以下の場合などは、衝撃が検知できず映像が記録できないことがあります。
 - ① 低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
 - ② 自車両、相手車両の衝撃緩和箇所に衝突した場合
 - ※ ① ②バンパー、ドア、タイヤボックス等で衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバッグが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。
 - ③ 自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車等の場合
 - ④ 相手車両の側面をこするように衝突した場合
 - ※ ③ ④相手車両が軽かったり（自動車対人、自動車対自転車等）、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。
 - ⑤ 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合
 - ※ 雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。また、ABSが作動していても、タイヤがロックしないように制御するだけなので、発生する衝撃は小さいままです。
 - ⑥ 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
 - ⑦ 本機の本体が固定されていなかったり、取付後のオフセット設定が行われていないなど、本機の実装状態に問題がある場合
 - ⑧ 大きな事故や水没などで本機が損傷を受けた場合
 - ⑨ 大きな事故の場合などでバッテリーと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリーが損傷を受けた場合
- 衝撃を感じても映像が記録されなかった場合や記録された映像データが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は映像を記録する装置ですが、必ずしも信号が確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号が確認できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。

安全に正しくお使いいただくために

- LED 式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED 式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- 長期間にわたり電源が供給されない状態が続くと、日時がずれる場合があります。日時が大幅にずれている場合や日時異常になった場合は、P.22 または P.46 の手順に従い日時を修正してください。
- 本機で記録した映像を見るために、下記のスペックを満たすパソコンが必要です。また、カードリーダーは含まれていませんので、ご使用のパソコンに接続可能なカードリーダーを別途ご購入願います。

パソコンの必要条件

OS	Windows XP 日本語版 (SP3 以降) 32 ビット版のみ *1 Windows Vista 日本語版 (SP2 以降) 32 ビット版、64 ビット版 *1 Windows 7 日本語版 32 ビット版、64 ビット版 *1 Windows 8*2 日本語版 32 ビット版、64 ビット版 *1
CPU	Pentium III 800MHz 以上 *3
メモリ	128MB 以上 *3
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上、High Color(16 ビット) 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	Internet Explorer 4.0 以降 USB 2.0、USB 3.0 または PCMCIA スロット経由で SD メモリーカードにアクセスできること

* 1 上記 OS 以外のバージョンの OS 上で起動させた場合、アプリケーションの動作は保証されません。

* 2 タブレット PC を始めとするタッチパネルでの動作は保証対象外です。

* 3 Windows XP の場合です。Windows Vista および Windows 7、Windows 8 については、Microsoft 社の推奨システム要件が必要です。

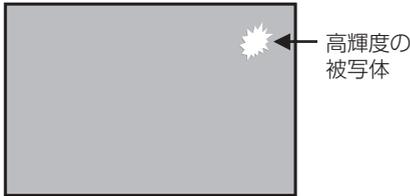
- Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- ご使用のパソコンによっては、再生時に映像が乱れたり音声途切れたりする場合があります。その際は、ビューアソフトを終了させ、再度ビューアソフトを起動して映像を再生してください。

■ 使用上のご注意

- 取り付け後、取扱書の動作確認手順に従い、正しく動作していることを確認してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には、必ず添付のSDメモリーカードを使用してください。添付品以外では正しく動作しません。
SDメモリーカードを挿入口から挿入してお使いください。
SDメモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。
- SDメモリーカードを本機に挿入する場合、向きに注意して挿入してください。SDメモリーカードを挿入したあとは、カードロック扉をカチッと音がするまで左にスライドさせてください。
- SDメモリーカードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（全てのLEDが消灯）を確認して行ってください。本機が動作中にSDメモリーカードの抜き挿しを行うと、SDメモリーカードが破損するおそれがあります。
- SDメモリーカードへのデータ書き込み中（青LEDと赤LEDが点灯中、緑LEDが消灯中）は、絶対にSDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- SDメモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（全てのLEDが消灯）を確認のうえ、カードロック扉を右にスライドし、SDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SDメモリーカードが少し飛び出しますので、SDメモリーカードを取り出してください。
- SDメモリーカードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。カメラの故障や破損の原因になります。
- カメラ部への直火やドライヤー、熱湯での急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因になります。
- カメラ本体およびレンズ部分、ブラケット、カメラコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因になります。
- 磨き砂等が配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因になります。

使用上のご注意

- カメラレンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。
- カメラコードにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象（※）が発生したり、その光源中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。

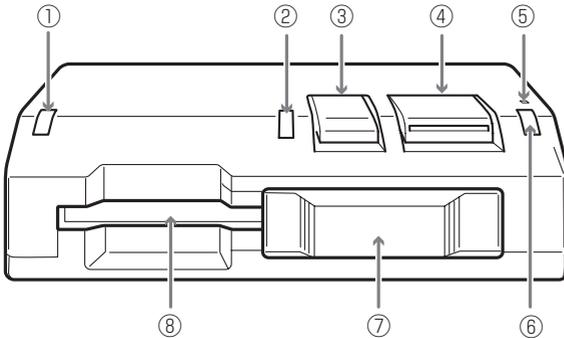


（※）ブルーミング現象：
高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生する

- 本機の日時を定期的を確認してください。日時がずれている場合は、P.22 または P.46 の手順で日時を修正してください。

■ 各部の名称とはたらき

本機



別売キット



① 緑 LED

点灯しているときは、再生モードまたは設定モード時です。

また、他の LED とともに点滅しているときは、本機に異常がある場合です。「LED 表示、ブザーによる通知」(P.10)を参照してください。

② 青 LED

点灯しているときは、衝撃検知可能、記録可能状態です。

他の LED とともに点滅しているときは、本機に異常がある場合です。「LED 表示、ブザーによる通知」(P.10)を参照してください。

③ 切換スイッチ (-ボタン)

モード切り替え操作、トップ画面、選択画面での選択・終了操作に使用します。

④ 記録スイッチ (+ボタン)

モード切り替え操作、映像記録・再生操作、トップ画面、選択画面での選択・決定操作に使用します。

⑤ マイク (集音部)

音声を記録します。

⑥ 赤 LED

点灯しているときは、映像記録中です。他の LED とともに点滅しているときは、本機に異常がある場合です。「LED 表示、ブザーによる通知」(P.10)を参照してください。

⑦ カードロック扉

SD メモリーカードを抜き差しするときに使用します。
左へスライドすると閉じ、右へスライドすると開きます。

⑧ カード挿入口

使用する SD メモリーカードをここへ挿入してください。

⑨ 外付記録スイッチ (別売キット)

映像記録、再生操作、トップ画面、選択画面での選択・決定操作に使用します。

■ LED 表示、ブザーによる通知

LED 表示、ブザーによって本機の状態をお知らせする機能があります。

LED 状態の記号は、以下のとおりです。

○：点灯状態 ●：消灯状態 ☉：点滅状態 ☼：速い点滅状態

(記号の中の色名は LED の色)

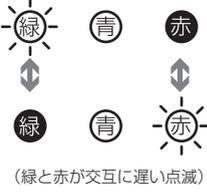
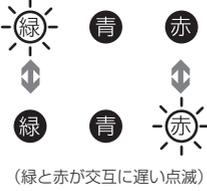
☼速い点滅：点灯 (0.5 秒) / 消灯 (0.5 秒) の繰り返し

☉遅い点滅：点灯 (0.5 秒) / 消灯 (1.5 秒) の繰り返し

1 異常通知

ここでは、本機に異常があった場合の状態、原因、対処について説明します。

ブザー	LED 状態	原因	対処
ピーピピピピピ		記録される日時が異常になっている。	本機の日時を修正してください。 (→ P.22、P.46)
ピーッピーッピーッ… (鳴り続ける) * 2		カードロック扉が開いたままになっている。 SD メモリーカードが挿入されていない。	SD メモリーカードを挿入し、カードロック扉を閉じてください。
ピーピーピーピーピー (5 回鳴り、それを繰り返す) * 2		SD メモリーカードのフォーマット異常の可能性が有る。	SD メモリーカードをフォーマットしてください。(→ P.48)
ピープーピープー… (鳴り続ける) * 2		ハード異常。	電源を入れなおしてください。 復帰しない場合は、本体の取り付け、接続、カメラ配線の接続を確認してください。
ピーーッピーーッ ピーーッ… (鳴り続ける) * 2		SD メモリーカードが書き込み禁止になっている。	SD メモリーカードの「LOCK」を解除し、SD メモリーカードを再挿入してください。
プープープー (3 回鳴る) * 3		映像記録中に記録スイッチ (+ ボタン) が押された。	映像記録中に記録スイッチ (+ ボタン) を押すと、記録できない場合があります。
		記録スイッチ (+ ボタン) を押してない時に鳴る場合、映像や画像の保存ができなかった。	SD メモリーカードの異常が考えられます。フォーマットしてください。(→ P.48)

ブザー	LED 状態	原因	対処
ピーピーピー・・・ (鳴り続ける)	 (緑と赤が交互に遅い点滅)	オフセット設定未実施。	オフセット設定の必要があるため、お買い上げの販売店にご相談ください。
	 (緑と赤が交互に遅い点滅)	オフセット設定実施後、設置場所・方向が変更されている。	

- * 1: 映像や画像の書き込み状態により異なる場合があります。
- * 2: 記録スイッチ (+ボタン)、または切換スイッチ (-ボタン) を押すとブザーが止まりますが、本機は動作していませんのでご注意ください。
- * 3: イベントブザー音量設定により音量設定できます (P.22、P.41 参照)。音量の初期値は「標準」に設定されています。

2 正常通知

ここでは、本機が正常に動作している場合の LED 状態、ブザーについて説明します。

● LED 状態

LED 状態	状態	備考
	電源 OFF	
	電源 ON	
 * 1	記録モード	
	再生モード 設定モード	
	映像書き込み中	書き込み中は赤 LED が点灯し、書き込みが終了すると赤 LED が消灯します。

●ブザー

ブザー	状態	備考
ピーピピ* 2	正常に起動しました。	
プッププッ・・・* 2	エンジンキーをオフにしたときに鳴ります。	電源が OFF になるまで 1 秒間隔で鳴ります。
ピピッ* 2	衝撃を検知して記録を開始します。	
ピプッ* 3	映像を正常に保存できました。	
プッ、ププッ、プププッ* 3	操作時に鳴ります。	スイッチによる操作時の操作音です。
ピッ* 2	動作モードが切り替わったときに鳴ります。	
ピピッ* 3	設定モードで設定が完了したときに鳴ります。	衝撃検知時のブザー「ピピッ」よりも高い音が鳴ります。

* 1：映像や画像の書き込み状態により異なる場合があります。

* 2：動作ブザー音量設定により音量設定できます（P.22、P.41 参照）。音量の初期値は「標準」に設定されています。

* 3：イベントブザー音量設定により音量設定できます（P.22、P.41 参照）。音量の初期値は「標準」に設定されています。

■ 本体の操作方法

本機は走行中の映像と音声を SD メモリーカードに記録し、パソコンや別売キットを使用してナビゲーション画面で見ることができます。

ここでは、本機の使い方、設定の変更方法を説明します。

1 起動する

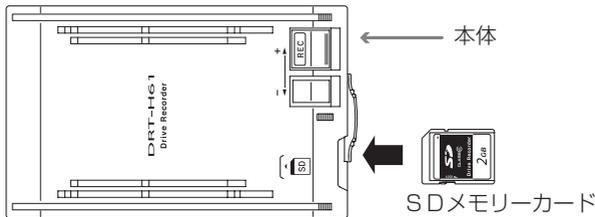
本機の電源は車両のエンジンキーと連動しています。エンジンキーを回す前に、本手順にしたがって SD メモリーカードの有無を確認してください。

1. 本機の電源が切れている状態で、SD メモリーカードが挿入されていることを確認します。

⚠ 注意

SD メモリーカードが挿入されていない場合は、以下の注意を守って SD メモリーカードを挿入してください。

- ・ 本機の電源が切れていること（本機の全ての LED が消灯している状態）を確認してください。
本機が動作中に SD メモリーカードの抜き差しを行うと、SD メモリーカードが破損する場合があります。
- ・ SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」解除の状態であることを確認してください。
- ・ SD メモリーカードを本機に挿入する場合は、向きに注意して挿入してください。
- ・ SD メモリーカードは、カチッと音がするまで挿入してください。
- ・ SD メモリーカードを挿入したら、カードロック扉を左へスライドして閉じてください。



2. 車両のエンジンキーをオンにします。

電源が入り、本機の青 LED が点灯します（このとき、緑 LED と赤 LED は消灯）。

📌 ワンポイント

その後、ブザーが「ピーピー」と鳴ると、起動完了です（約 7 秒かかります）。

2 終了する

1. 車両のエンジンキーをオフにします。ブザーが「プップッ…」(1秒毎)と鳴ります。ブザーが止まり、全てのLEDが消灯すると、電源が切れた状態です。

起動している時間が短い場合、ブザーが短かったり、鳴らない場合があります。

2. 記録した映像をパソコンで見たい場合は、SDメモリーカードを取り出します。

カードロック扉を右にスライドさせ、SDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SDメモリーカードが少し飛び出します。

注意

- SDメモリーカードへのデータ書き込み中（青LEDと赤LEDが点灯中、緑LEDが消灯中）は、絶対にSDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- SDメモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（全てのLEDが消灯）を確認のうえ、カードロック扉を右にスライドし、SDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SDメモリーカードが少し飛び出しますので、SDメモリーカードを取り出してください。
- SDメモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。SDメモリーカードを取り出した場合は、入れ忘れにご注意ください。SDメモリーカードが無い場合は、ブザーが「ピーッピーッピーッ・・・」と鳴りつづけます。

3 映像と音声を記録する（記録モード）

映像と音声の記録方法は、イベント記録、連続記録、画像記録の3種類があります。

- イベント記録・・・ 加速度や衝撃を検知したときに自動的に記録を行うオート記録と、記録スイッチ（+ボタンまたは外付記録スイッチ）操作で手動で記録を行うマニュアル記録があり、検知・操作前12秒、後8秒の20秒間の映像と音声を記録します。
- 連続記録・・・・・・ 記録スイッチ（+ボタンまたは外付記録スイッチ）を3秒以上押してから、次にスイッチ操作を行うまで映像と音声の記録します。
最長60分間の映像と音声を記録します。
- 画像記録・・・・・・ 記録スイッチ（+ボタンまたは外付記録スイッチ）を押し、1枚の静止画を記録します。
最大600枚の静止画を保存します。

■ イベント記録の場合

イベント記録は以下の場合に動作を開始します。

（オート記録）：急ブレーキ、急ハンドルによる加速度や衝撃を検知した場合に自動で記録を開始

※「ピピッ」というブザーで記録を開始します。

記録できる映像は10件です。これを超える場合は、古い映像から上書きされます。

（マニュアル記録）：

本体の記録スイッチ（+ボタンまたは外付記録スイッチ）を1秒押し、手動で記録を開始

※「ププッ」というブザーを確認してから2秒以内に手を離してください。**記録できる映像は5件です。これを超える場合は、古い映像から上書きされます。**

記録中は赤LEDが点灯します（このとき、青LEDは点灯、緑LEDは消灯）。「ピプッ」というブザーが鳴り、赤LEDが消灯する（このとき、青LEDは点灯、緑LEDは消灯）と記録終了です（連続記録中は赤LEDは消灯しません）。

なお、事故が発生した場合も、衝撃が弱いなどの原因で衝撃を検知できない場合があります。その場合は、記録スイッチ（+ボタンまたは外付記録スイッチ）を1秒押して映像の記録（マニュアル記録）を行ってください。

■ 連続記録の場合

動作の開始

記録スイッチ（+ボタンまたは外付記録スイッチ）を3秒以上押し続けたところから、映像と音声を記録します。

※「ブブッ」というブザーを確認してから手を離してください。

動作の終了

次の場合に連続記録を終了します。

- 連続記録動作中に、記録スイッチ（+ボタンまたは外付記録スイッチ）を3秒以上押し続ける
 - ※「ブッ」というブザーの後に「ピッ」というブザーが鳴ります。
- メモリーカードの記録容量上限に達したとき、または記録時間が60分に達したとき
- エンジンキーをオフにする

ワンポイント

- 連続記録で撮影できる映像は最長60分です。
- 記録スイッチ（+ボタン）を3秒以上押し続けるとブザーが「ブブッ」と鳴ります。1秒押した時点で「ブッ」と鳴りますが、間違わないようにご注意ください。
- 連続記録では、上書き処理を「する」か「しない」か、上書設定画面（P.24）で設定できます。初期状態は「する」（上書きあり）です。
 - 「しない」（上書きなし）に設定した場合、SDメモリーカードの記録容量上限に達したときに、連続記録の映像を消去しないと、連続記録を続行できません。
 - 「する」（上書きあり）に設定した場合、SDメモリーカードの記録容量上限に達したときは、古い映像から上書きされ、連続記録が60分間続行されます。
 ただし、記録容量上限に達した時点でいったん動作が終了しますので、引き続き記録し続けるときは、記録スイッチ（+ボタン）を3秒以上押ししてください。

■ 画像記録の場合

記録スイッチ（+ボタンまたは外付記録スイッチ）を押してすぐに離すと1枚の静止画を記録します。最大600枚まで、50枚毎にサブフォルダに保存します。

※「ブッ」というブザーが鳴ります。

ワンポイント

保存した静止画像が600枚を超えると、上書きを行います。

注意

パソコンで画像ファイルを削除すると、600枚に満たないことがあります。

4 記録した映像を見る（再生モード）

別売キットを用いてSDメモリーカードに保存されている映像をナビゲーション画面で見ることができます。

なお、再生モード中は映像の記録はできません。

また、再生モードでは音声は再生されないため、記録した音声はパソコンで確認してください。

■再生モードへの切り替え方

1. 記録モード動作中に、切換スイッチ（-ボタン）を押したまま、記録スイッチ（+ボタン）を押します。

1秒以上経過した時点で「ピッ」とブザーが鳴り、再生モードに切り替わります。再生モードでは、緑LEDと青LEDが点灯します（このとき、赤LEDは消灯）。

⚠ 注意

- ナビゲーション画面は、VTR操作画面にしてください。
- 記録中（イベント記録、連続記録、画像記録）は、再生モードには切り替わりません。記録が終了している状態で、再生モードに切り替えてください。
- 走行中は再生モードには切り替わりません。車両が停止している状態で再生モードに切り替えてください。

■記録モードへの切り替え方

再生モードのトップ画面にて切換スイッチ（-ボタン）を1秒押します。

⚠ 注意

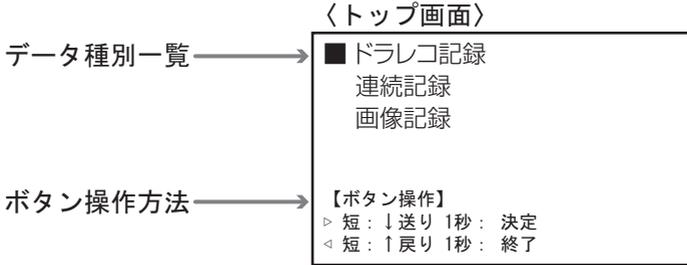
以下の状態で自動的に記録モードに切り替わりますので、必ず車両を停車させた状態で再生モードに切り替えてください。

- 操作しないまま1分が経過する。（画像記録表示の場合は3分）
※映像再生中の場合は切り替わりません。
- 走行する。（車速信号の入力を検知する）
※映像、画像再生中であっても切り替わります。
- 電源をオフにする。（次回起動時に記録モードに切り替わります）

■再生モードの操作方法と表示

再生モードに切り替わると、注意文が表示され、3秒後にトップ画面が表示されます。

1. トップ画面で、+ボタンや-ボタンを押して記録したデータ種別を選び、+ボタンを1秒押します。



2. +ボタンや-ボタンを押して、ファイル名一覧から再生したい映像を選び、+ボタンを1秒押します。



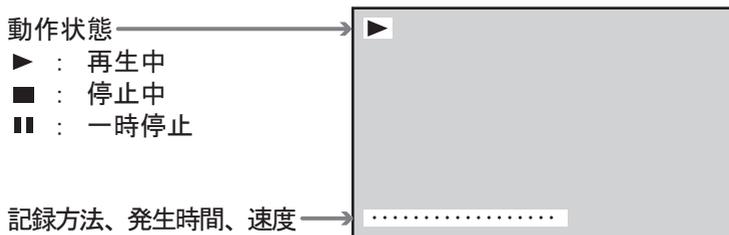
ワンポイント

- +ボタンまたは-ボタンを3秒押すとページを変更することができます。
- ページ数が複数ある場合も全てのページで、-ボタンを1秒押すとトップ画面にもどることができます。
- ファイル名一覧は新しい映像から順番に並んでいます。
- +ボタンまたは-ボタンを短押しすると「ブッ」、1秒押しすると「ブッッ」、3秒押しすると「ブッッッ」というブザーが鳴ります。

・映像再生の場合（イベント（ドラレコ）記録、連続記録）

画面の左下に「記録方法（A：オート記録、M：マニュアル記録、L：連続記録）」と「発生時間」「速度」を常に表示します。

画面の左上に、「動作状態（再生中、停止中、一時停止）」を表示します。



1. 映像再生中に+ボタンを押すと、再生を停止します。（一時停止）
一時停止中に+ボタンを押すと、再生を再開します。
2. 再生完了（停止）した状態で+ボタンを押すと、最初から再生します。
3. +ボタンを1秒押すと、1つ古い映像を再生します。
（最も古い映像だった場合は最新の映像を再生します。）
また、-ボタンを1秒押すと、1つ新しい映像を再生します。
（最新の映像だった場合は最も古い映像を再生します。）
4. 再生中・一時停止中・停止中全ての画面で、-ボタンを3秒押すと選択画面にもどることができます。

ワンポイント

- SDメモリーカード内に映像データがない状態で+ボタンを押すと、画面に「No Data」と表示されます。
- オート記録、マニュアル記録では一時停止から再生を再開するとき、一時停止した1秒前から再生します。

・画像表示の場合（画像記録）

画面の左下に「記録方法（P：画像記録）」と「撮影時間」「速度」を常に表示します。

記録方法、撮影時間、速度 →



1. +ボタンを押すと、次のデータを表示します。
2. -ボタンを3秒押し続けると、データ選択画面に戻ります。

 ワンポイント

SDメモリーカード内に画像データがない状態で+ボタンを押すと、画面に「No Data」と表示されます。

 注意

保存している画像が多いと、表示に時間がかかります。

5 本体の設定を変更する（設定モード）

別売キットを用いてSDメモリーカードに保存されている映像をナビゲーション画面で見ることができます。

■ 設定モードへの切り替え方

設定モード中は映像の記録はできません。

1. 全てのLEDが消灯している状態でカードロック扉を開きます。
2. 車両のエンジンキーをオンにします。
「ピーッピーッピーッ…」とブザーが鳴り始めます。
3. 切換スイッチ（－ボタン）を押したまま、記録スイッチ（＋ボタン）を押し、そのままカードロック扉を閉じます。
設定モードに切り替わります。設定モードでは、緑LEDと青LEDが点灯します（このとき、赤LEDは消灯）。

注意

SDメモリーカードへのデータ書き込み中（青LEDと赤LEDが点灯中、緑LEDが消灯中）にカードロック扉を開くと、SDメモリーカードが破損するおそれがあります。必ず、全てのLEDが消えていることを確認してください。

■ 記録モードへの切り替え方

設定モードのトップ画面にて切換スイッチ（－ボタン）を1秒押す。

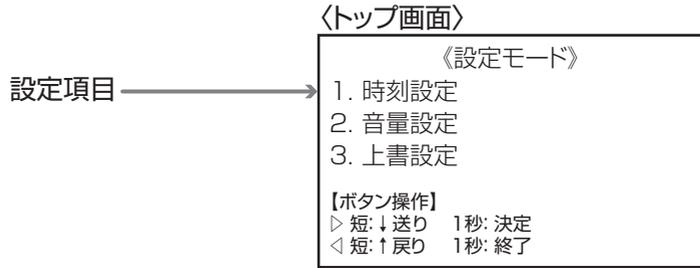
注意

以下の状態で自動的に記録モードに切り替わりますので、必ず車両を停車させた状態で設定モードに切り替えてください。

- 走行する。（車速信号の入力を検知する）
- 電源をオフにする。（次回起動時に記録モードに切り替わります）

■ 設定モードの操作方法と表示

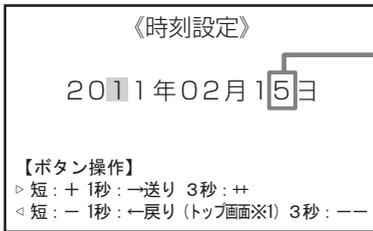
1. 設定モードに切り替わると、トップ画面が表示されます。
トップ画面で、＋ボタンや－ボタンを押して設定したい項目を選び、＋ボタンを1秒押します。



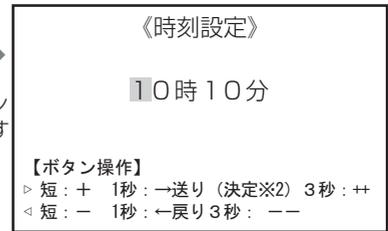
・時刻設定画面

1. + ボタンを押すと数値が上がります。
また、- ボタンを押すと数値が下がります。
2. + ボタンを 1 秒押すと、年→月→日→時→分の順に移動します。
また、- ボタンを 1 秒押すと、逆の順に移動します。
3. + ボタンを 3 秒以上押し続けると、その間は数値が自動的に上がります。
また、- ボタンを 3 秒以上押し続けると、その間は数値が自動的に下がります。

時刻設定画面：※1



時刻設定画面：※2



最後の桁
で+ボタン
を1秒押す

4. 「※ 1」画面の最後の桁で+ボタンを1秒押すと、「※ 2」画面に移ります。
「※ 2」画面の最後の桁で+ボタンを1秒押すと、時刻が設定されてトップ画面に戻ります。

⚠ 注意

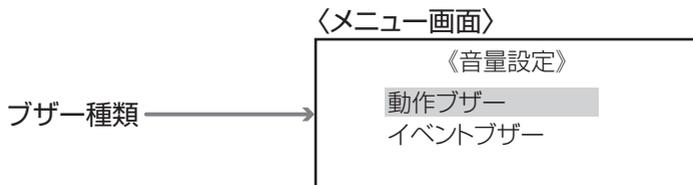
- 「※ 1」画面では、最初の桁で-ボタンを1秒押すと、トップ画面に戻ります。
「※ 2」画面では、最初の桁で-ボタンを1秒押すと、「※ 1」画面に移ります。
- 操作の途中で終了した場合、変更した設定は保存されません。

📌 ワンポイント

- 設定が完了したら、高い「ビピッ」というブザーが鳴ります。

・音量設定画面

1. +ボタンまたは-ボタンを押して音量設定したい項目を選び、+ボタンを1秒押します。



ワンポイント

動作ブザーは起動終了やオート記録のときに鳴るブザーです。イベントブザーはスイッチ操作や映像を正常に保存したときに鳴るブザーです。

2. +ボタンまたは-ボタンを押して「OFF」、「標準」、「大」の中から選び、+ボタンを1秒押します。



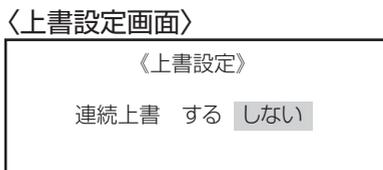
ワンポイント

- 設定が完了したら、高い「ピピッ」というブザーが鳴ります。
- 設定をOFFにしても、エラーのブザーは鳴ります。

・上書設定画面

連続記録時の上書き処理の「する」、「しない」を設定します。

1. +ボタンまたは-ボタンを押して「する」、「しない」の中から選び、+ボタンを1秒押します。



ワンポイント

- 設定が完了したら、高い「ピピッ」というブザーが鳴ります。

■ ビューアソフトの操作方法

本機で記録した映像と音声はパソコンで再生できます。再生には専用のビューアソフトを使います。ここでは、ビューアソフトの使い方を説明します。

⚠ 注意

パソコンの画面は Windows 7 Professional Edition (SP3) のものです。OS や設定によって画面の表示が異なる場合があります。

1 ビューアソフトをコピーする

ビューアソフトは付属の SD メモリーカードにあらかじめ保存されています。ビューアソフトをパソコンで使用するために、パソコンのデスクトップにコピーします。

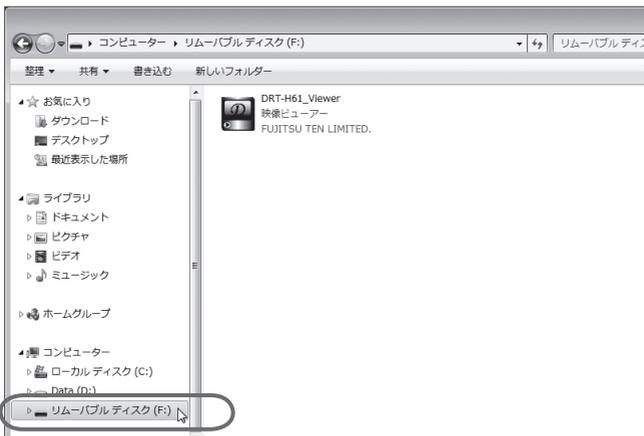
1. SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。

⚠ 注意

- SD メモリーカードスロットが搭載されているパソコンでは、SD メモリーカードスロットにそのまま挿入することができます。SD メモリーカードスロットが搭載されていないパソコンの場合は、お客様でカードリーダーをご準備ください。
- お使いのパソコンによっては、SD メモリーカードスロットのドライブ文字が異なる場合があります。

2. キーボードのウィンドウズキー (⊞) と E キーを同時に押します。 エクスプローラーが起動します。

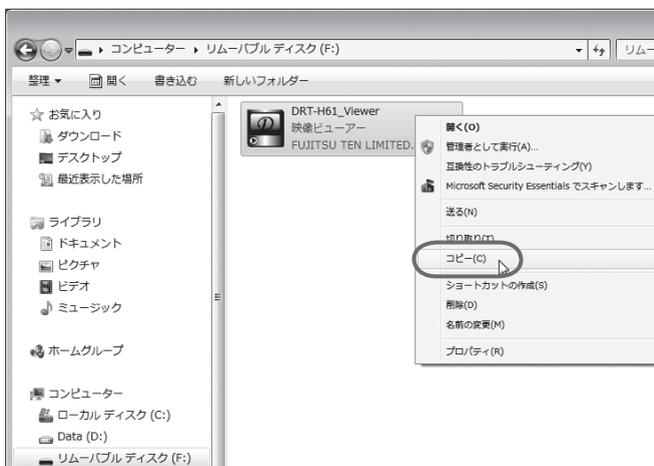
3. SD メモリーカードのドライブを選択します。



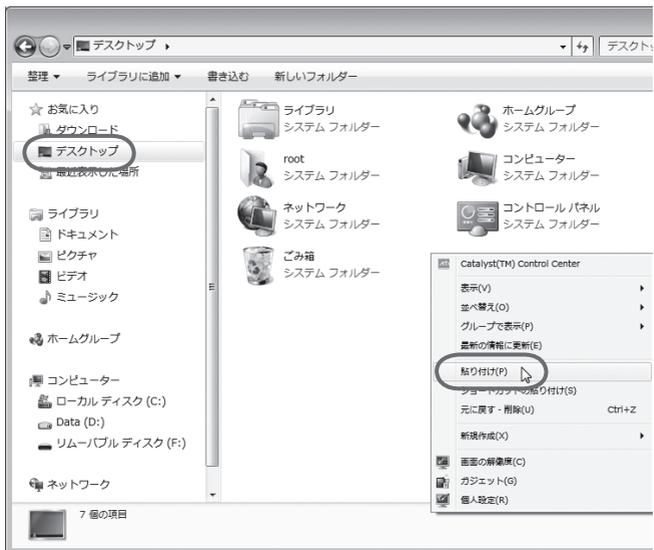
⚠ 注意

お使いのパソコンの設定によっては、ビューアソフト以外のファイルが表示される場合があります。本体の動作を記録したファイルですので、削除しないようにご注意ください。

4. 「DRT-H61_Viewer」をマウスで右クリックし、「コピー」を選択します。



5. 「デスクトップ」を選択して、右の枠内をマウスで右クリックし「貼り付け」を選択します。



6. 「DRT-H61_Viewer」がデスクトップにコピーされます。



ワンポイント

ビューアソフトはバックアップとして任意の場所にコピーすることをお勧めします。
もし誤ってビューアソフトを消してしまった場合は、専用サイトよりダウンロード可能です。

⇒ 「ビューアソフトを消してしまった場合」(P.52) 参照

2 記録した映像を見る

記録した映像を、ビューアソフトで見ることができます。

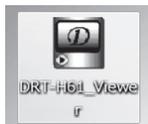
以下の手順でビューアソフトを起動し、映像を再生します。

1. 本体から抜いたSDメモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。

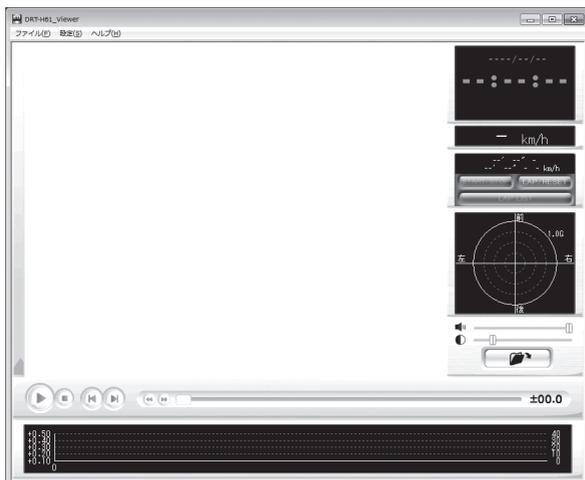
⚠ 注意

お使いのパソコンの設定によっては、SDメモリーカードを挿入したときに「Windowsが実行する動作を選んでください」というダイアログが表示されます。その場合は、「キャンセル」ボタンをクリックするか、「何もしない」を選択するか、または右上の「」ボタンでダイアログを閉じてください。

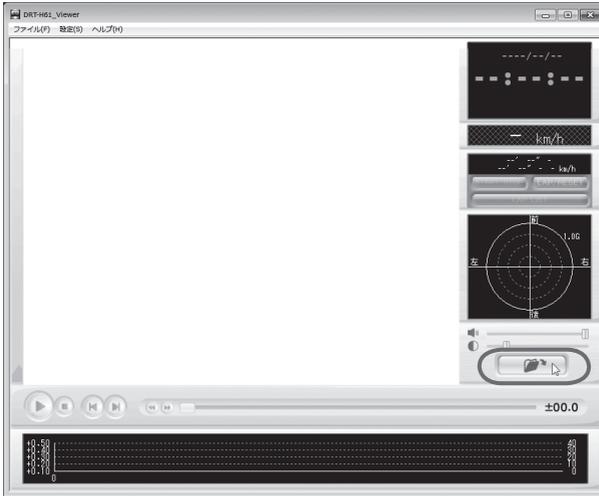
2. デスクトップの「DRT-H61_Viewer」をダブルクリックします。



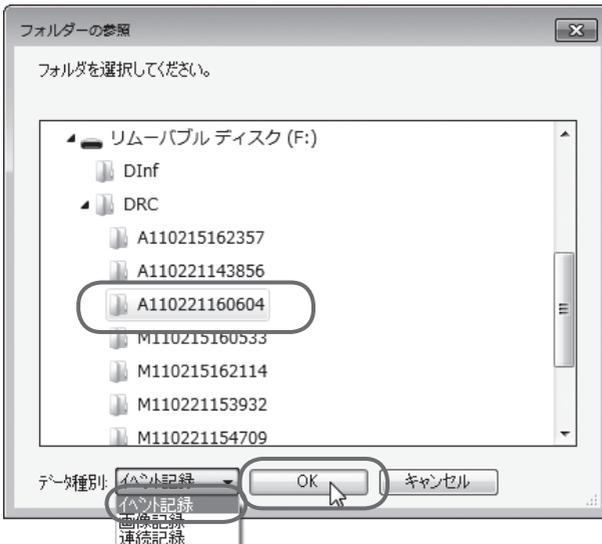
3. ビューアソフトが起動します。



4. 見たい映像のフォルダを指定します。  ボタンをクリックします (またはメニューの「ファイル」 - 「開く」を選択します)。
フォルダ構成については、P.35 を参照してください。

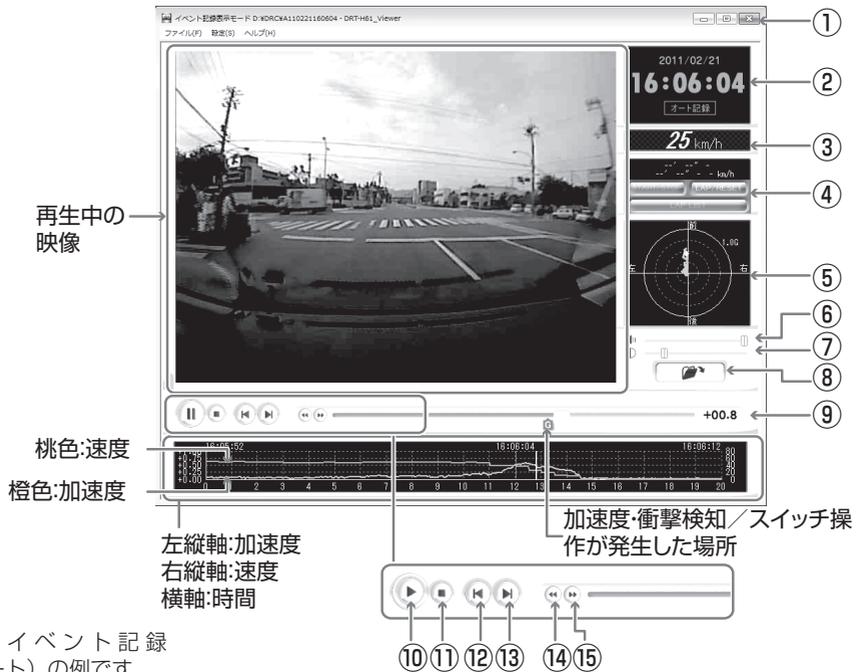


5. SDメモリーカードのドライブを指定し、「DRC」 / 「LNG」 / 「PIC」フォルダををを選択します。見たい映像のフォルダを選択し、左下のデータ種別から表示モードを選び [OK] ボタンをクリックします。



ビューアソフトに指定した表示モードで映像が読み込まれ、自動再生が始まります。

・イベント記録 / 連続記録の場合

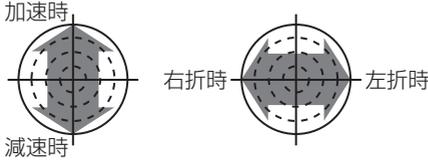


※図はイベント記録 (オート) の例です。

- ① ビューアソフトを終了します。
- ② 指定した映像の記録日時と記録方法の種類を表示します。
映像の一部がバックアップ電源で記録された場合は、 を表示します。
- ③ 速度を表示します。
- ④ 連続記録の場合：連続記録の再生時に、ストップウォッチ機能のボタンと時間・速度などを表示します。(P.33 参照)
イベント記録の場合：ストップウォッチ機能のボタンはクリックできなくなり、時間・速度なども表示されません。
- ⑤ 現在再生しているデータの G 値の大きさと方向を表示します。
- ⑥ 音量を調整します。
設定範囲 :0 ~ 16
数値を大きくすると、音量が大きくなります。
- ⑦ 映像の明るさを調整します。
設定範囲 :0.1 ~ 5.0
数値を大きくすると、映像が明るくなります。
- ⑧ フォルダの参照画面で、再生する映像を指定します。
- ⑨ イベント記録の場合：現在の再生映像の時刻と記録の開始 (加速度・衝撃検知、またはスイッチ操作) 時刻との差を表示します。
連続記録の場合：何も表示されません。
- ⑩ 映像を再生します。
再生中は一時停止ボタン () となります。
- ⑪ 再生を停止します。
- ⑫ 一つ前のフォルダ内の映像を再生します。
- ⑬ 一つ後のフォルダ内の映像を再生します。
- ⑭ イベント記録の場合：一つ前のコマを表示します。
連続記録の場合：一つ前のチャプターの先頭から再生します。
- ⑮ イベント記録の場合：一つ後のコマを表示します。
連続記録の場合：一つ後のチャプターの先頭から再生します。

 **ワンポイント**

- 映像が暗い場合は映像の明るさを調整してください。
- G値の大きさは、値が大きいかほど中心から離れます。
運転の状況によるG値の方向は下記のとおりです。

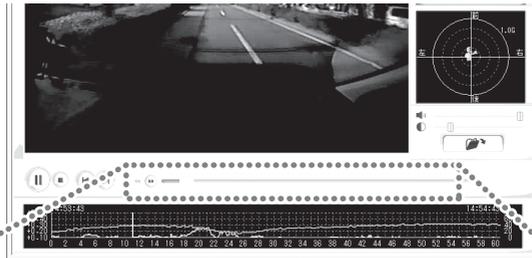


 **注意**

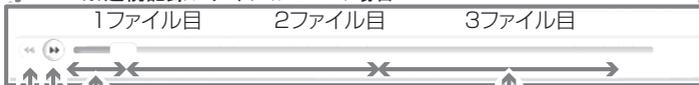
- 取付後すぐは方向が違う場合がありますが、走行することにより正しい向きで表示するように学習します。
- 方向は、直進状態の発進・停止のタイミングで学習します。
- 発進・停止の少ない走行や山道走行では正しく学習できない場合があります。

 **ワンポイント**

- 連続記録の場合、トラックバーを移動させるとつまみで指定した位置から再生を行います。



※連続記録ファイルが3つの場合



つまみをこの範囲内で移動した場合、1ファイル目の指定した位置から再生を開始します。

つまみをこの範囲内で移動した場合、3ファイル目の指定した位置から再生を開始します。

一つ後のチャプター(ファイル)の先頭から再生します。

一つ前のチャプター(ファイル)の先頭から再生します。

・ 画像記録の場合



ワンポイント

表示中の画像をコピーしたい場合は、表示中の画面の上で右クリックしメニューの「コピー」を選択してください。パソコンのクリップボードにコピーできます。

6. 終了する場合は、**✕** ボタンをクリックします (またはメニューの「ファイル」 - 「終了」を選択します)。



ワンポイント

SD メモリーカードに保存できる映像の数は限られています。必要に応じて、SD メモリーカードの映像データをパソコンのハードディスクに保存してください。

⇒「記録した映像をパソコンに保存する」(P.37) 参照

注意

●映像を読み込む時や再生している時にエラーメッセージが表示され、映像が正しく再生されない場合は、映像データが破損している可能性があります。必要に応じてSDメモリーカードの映像データをパソコンのハードディスクに保存し、SDメモリーカードのフォーマットを行ってください。

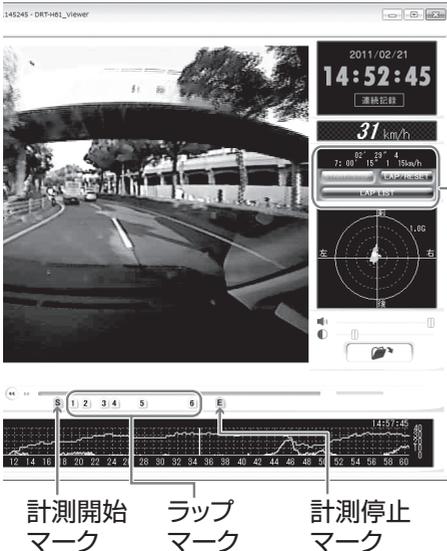
⇒「記録した映像をパソコンに保存する」(P.37) 参照

⇒「SDメモリーカードをフォーマットする」(P.48) 参照

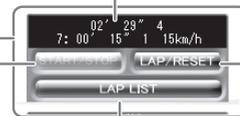
●SDメモリーカードを抜くときは必ずパソコンで安全な取り外し操作を行ってください。

■ストップウォッチ機能の使い方（連続記録再生時）

連続記録再生時には、ストップウォッチ機能を利用できます。計測中は、任意の区間を指定してラップタイム（区間経過時間）や平均速度の確認ができます。ラップタイムは、開始／停止に9つのポイントを合わせて、最大10区間まで指定できます。



TOTAL時間
ラップタイム、平均速度



ストップウォッチの計測を開始/停止します。

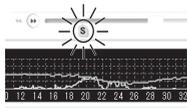
- ラップタイムの計測ポイント(1~9)を指定します(開始/停止ポイントを合わせて最大10区間)。
- 計測停止後、全ての計測結果をクリアします。

ラップタイムと平均速度をリスト画面に一覧表示します。

・計測開始／停止する

連続記録の再生中に **START/STOP** ボタンをクリックします。

(計測開始マークと TOTAL 時間が表示されます。)



⚠ 注意

計測中は、前のチャプターへボタンやトラックバーのつまみを動かしても、計測開始ポイントまたは最後のラップポイントより前に戻すことはできません。

・ラップの計測区間を指定する

計測中に **LAP LIST** ボタンをクリックします。

(9回までクリックでき、開始／停止を合わせて 10 回のラップタイムを計測できます。)

📄 ワンポイント

● **LAP LIST**

ボタンをクリックすると、ラップタイムと平均速度を一覧で確認できます。

●ラップタイムは、前のラップから現ラップ間の区間タイムを表示します。

●ラップポイントを編集することはできません。

●以下の操作を行った場合でも計測を停止します。

再生終了、再生停止、一時停止、フォルダ切り替え、本体設定、時刻設定、ヘルプ、バージョン情報、終了、**X** ボタンのクリック

●ストップウォッチ動作中、ファイルをまたいでトラックバーを移動させると、読み込みに時間がかかる場合があります。

●各ラップタイムの合計と TOTAL 時間の間に誤差（最大 0.9 秒）が発生する場合があります。

●LAP LIST（ラップタイム・平均速度の一覧）画面の内容を保存することはできません。保存したい場合は、パソコンの Print Screen キーを押して画面をコピー後ペイントなどに貼り付け、画像として保存してください。

●計測中に **🗑** をクリックすると、計測結果消去の確認画面が表示されます。別のフォルダを指定するときは [OK] をクリックしてください。[キャンセル] をクリックすると、計測画面に戻ります。

各ラップ
タイム

LAP LIST			
1:	00'	33"	5 28km/h
2:	01'	29"	6 22km/h
3:	00'	20"	5 38km/h
4:	00'	26"	7 1km/h
5:	00'	46"	1 17km/h
6:	00'	10"	5 26km/h
7:	--'	--"	- km/h
8:	--'	--"	- km/h
9:	--'	--"	- km/h
10:	--'	--"	- km/h
TOTAL		03'	46" 5 22km/h

各ラップの
平均速度

TOTAL
時間

TOTALの
平均速度

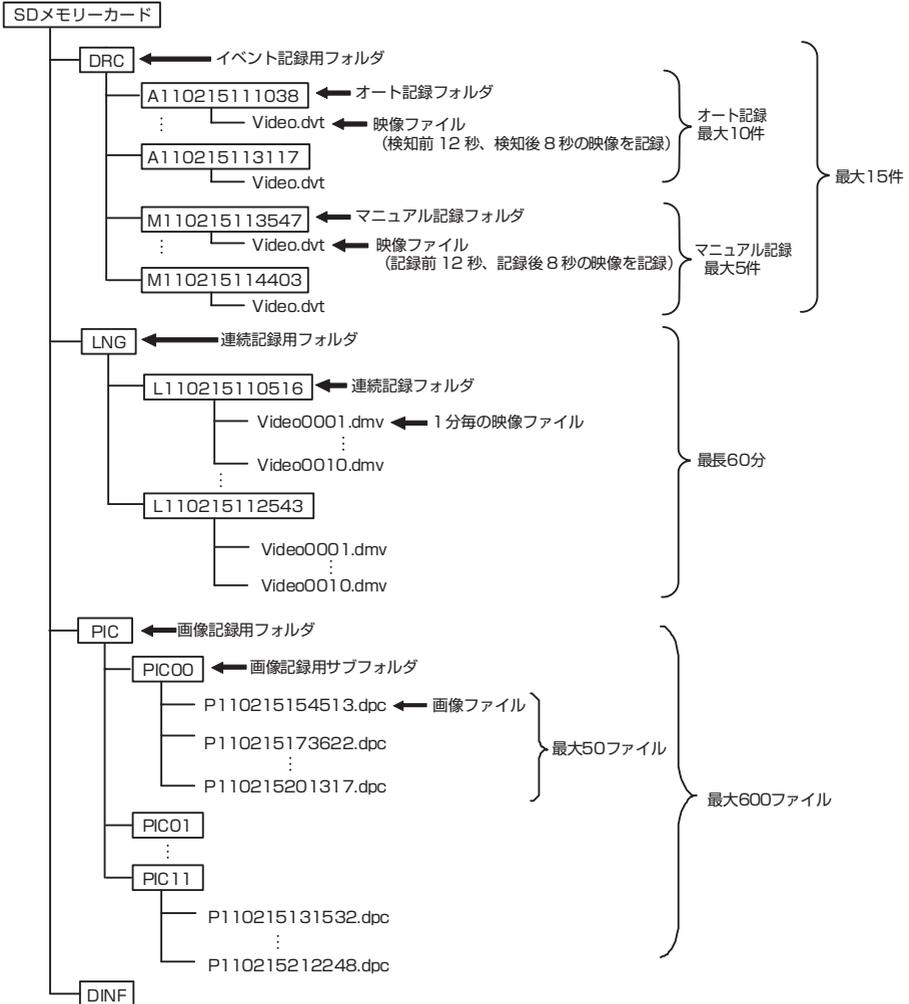
・計測結果をクリアする

計測停止後に **LAP/RESET** ボタンをクリックします。

■ フォルダ構成

●SDメモリーカード内には、記録方法（記録モード）によってフォルダが分類されています。

- イベント記録のデータ : DRC のフォルダ
- 連続記録のデータ : LNG のフォルダ
- 画像記録のデータ : PIC のフォルダ



3 記録した映像をパソコンに保存する

SD メモリーカードは容量の関係から、保持しておける映像の数が限られています。SD メモリーカードの容量がいっぱいになると、古いフォルダから上書きしていきますので、古い映像を見ることができなくなります。そのため、必要に応じて、SD メモリーカードの映像データはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

1. 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. エクスプローラで、SD メモリーカードのドライブを指定し、保存したい記録方法別のフォルダ（イベント記録は DRC、連続記録は LNG、画像記録は PIC）を選択します。



3. 保存したい映像のフォルダをマウスで右クリックし、「コピー」を選択します。



4. 保存先のパソコンのフォルダを指定して（ここではデスクトップにしています）、右の枠内をマウスで右クリックし、「貼り付け」を選択します。



保存したい映像のフォルダが、SD メモリーカードから指定した保存先に保存（コピー）されます。



⚠ 注意

コピー中にエラーメッセージが表示された場合、映像データが破損している可能性があります。再度やり直してもエラーメッセージが表示される場合はSDメモリーカードのフォーマットを行ってください。

⇒ 「SDメモリーカードをフォーマットする」(P.48) 参照

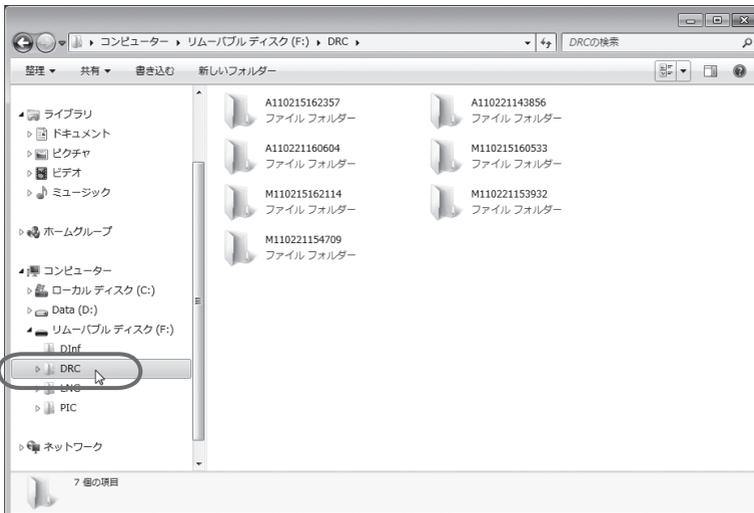
4 記録した映像を SD メモリーカードから消去する

映像が不要であればパソコンで映像を削除することができます。通常、SD メモリーカードがいっぱいになると、古い映像を上書きしますので、必ずしも削除する必要はありません。ただし、連続記録の上書き設定で「しない」にした場合、上書きされませんので削除が必要になります。

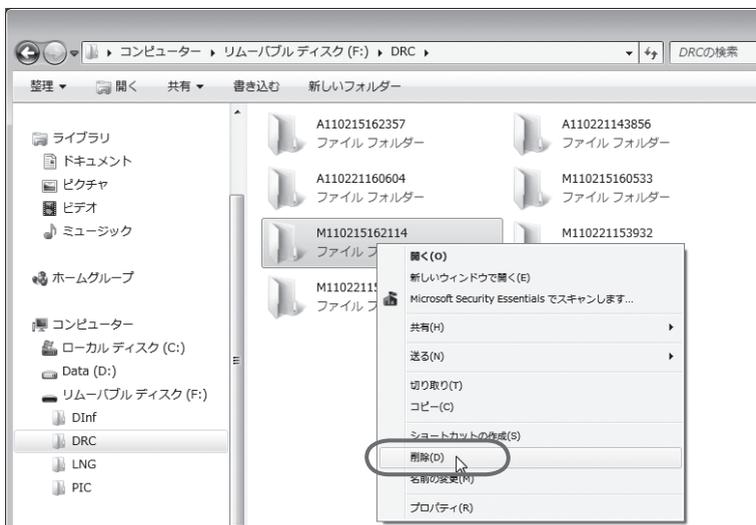
⚠ 注意

- 映像を削除する時は、SD メモリーカードをフォーマットするのではなく、フォルダのみを削除し、フォルダ以外を削除しないようにご注意ください。
- SD メモリーカード上のファイルやフォルダを削除すると、元に戻すことはできませんので、操作には十分にご確認ください。

1. 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. エクスプローラで、SD メモリーカードのドライブを指定し、消去したい記録方法別のフォルダ（イベント記録は DRC、連続記録は LNG、画像記録は PIC）を選択します。



3. 削除したい映像のフォルダを指定します。マウスで右クリックし、「削除」を選択します。



4. 確認ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックしてください。



削除が完了しました。他の映像を削除したい場合は同様の操作を繰り返してください。

5 本体の設定を変更する

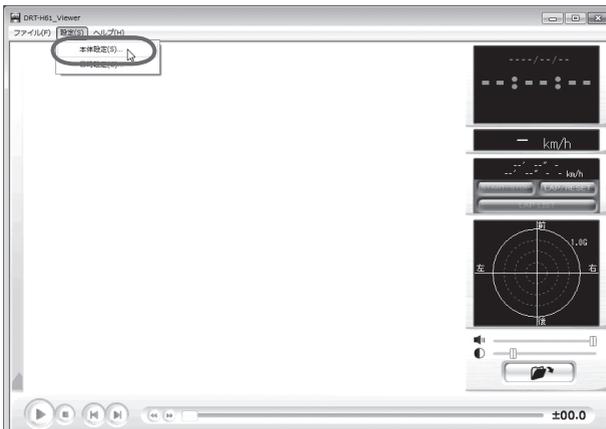
ビューアソフトから本体の設定値を SD メモリーカードに保存しておくことで、エンジンキーのオン時に、自動的に本体の設定を変更することができます。変更が可能な設定項目は以下の通りです。

- (1) 連続記録の上書き設定
連続記録時の上書き処理を「する」/「しない」を設定します。
- (2) センサー感度
イベント記録の際に映像が撮れすぎる場合や撮れにくい場合は、センサー感度を調節します。センサー感度は少しずつ変更し、「撮れすぎる」/「撮れにくい」をその都度確認してください。
- (3) ブザーの音量
動作ブザー、イベントブザーの音量をそれぞれ調節します。大、標準、OFF の 3 段階から選んでください。

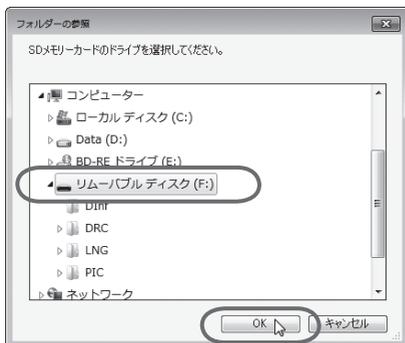
⚠ 注意

- センサー感度はむやみに変更しないでください。
- センサー感度を変更する前に、本体のオフセット設定を再度実施してください。それでも改善しない場合にセンサー感度を変更してください。
- センサー感度を低くした場合、不要なデータは撮りにくくなりますが、必要なデータまで撮れなくなる可能性も高くなりますのでご注意ください。
- 右左折やカーブで撮れすぎる場合は、横軸補正の設定値を調整してください。

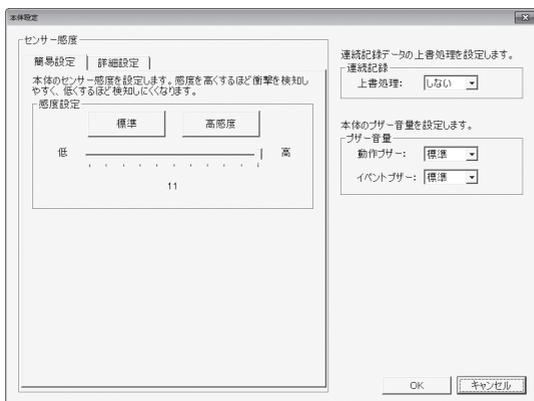
1. 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. ビューアソフトを起動し、メニューの「設定」－「本体設定」を選択します。



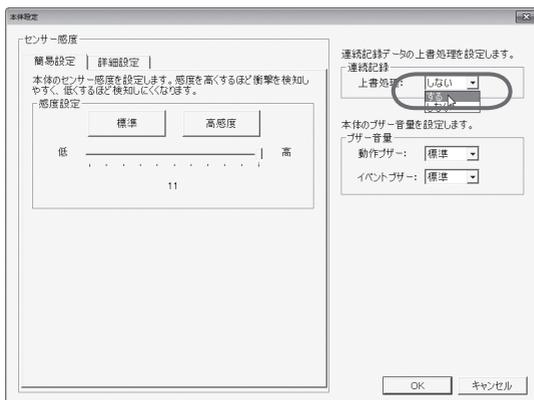
3. SDメモリーカードのドライブを指定し、[OK] ボタンをクリックします。



本体設定画面が表示されます。SDメモリーカードを正しく読み込めた場合は、以前に動作していた設定が表示されます。



4. 連続記録の上書き処理 (する / しない) を設定します。



5. センサーの感度や補正を設定します。

センサー感度の簡易設定

センサー感度

簡易設定 | 詳細設定

本体のセンサー感度を設定します。感度を高くするほど衝撃を検知しやすく、低くするほど検知しにくくなります。

感度設定

① 標準 ② 高感度

③ 低 11 高

連続記録データの上書処理を設定します。

連続記録

上書処理: する

本体のブザー音量を設定します。

ブザー音量

動作ブザー: 標準

イベントブザー: 標準

OK キャンセル

センサー感度の詳細設定

センサー感度

簡易設定 | 詳細設定

本体のセンサー感度を設定します。感度を高くするほど衝撃を検知しやすく、低くするほど検知しにくくなります。

感度設定

① 標準 ② 高感度

④ 低 0.45 G 高

左右方向(横軸)のセンサー感度補正を設定します。値を大きくするほど、左右方向の衝撃を検知しにくくなります。

横軸補正

⑤ 小 0.10 G 大

本体の進行方向に対する補正角度を設定します。

進行方向補正

⑥ 自動学習する 0 度

連続記録データの上書処理を設定します。

連続記録

上書処理: する

本体のブザー音量を設定します。

ブザー音量

動作ブザー: 標準

イベントブザー: 標準

OK キャンセル

※ 簡易設定と詳細設定は連動しています。

- ① センサー感度を標準的な値にします。
- ② センサー感度を高い値にします。
- ③ センサーの感度を細かく設定できます。設定範囲: 1 ~ 11
- ④ センサーの感度をさらに細かく 0.01G 単位で設定できます。設定範囲: 0.40G ~ 0.60G
- ⑤ センサー感度の左右方向(横軸)に対して感度の補正値を設定します。値を大きくするほど、左右方向の衝撃を検知しにくくなります。設定範囲: 0.00G ~ 0.30G
- ⑥ 進行方向補正角度を自動学習するかしないかを設定できます。自動学習しない場合はチェックを外し、本体の進行方向に対する補正角度を設定します。設定範囲: - 45 度 ~ 45 度

 **ワンポイント**

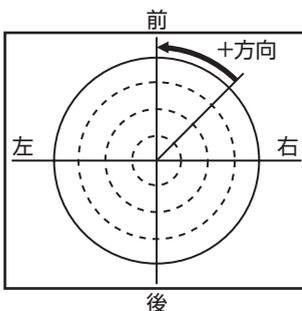
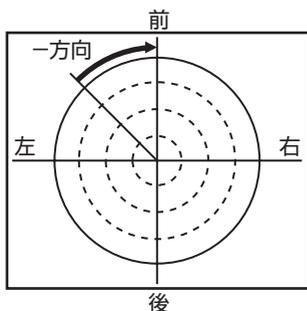
- センサー感度を高くするほど映像が撮れやすくなります。
- SD メモリーカードを本体に挿入する前にパソコン上で設定画面を開くと調整前の値が表示されますが（数値は本体挿入後に変更されます）、SD メモリーカードには調整した値を記録しています。

 **注意**

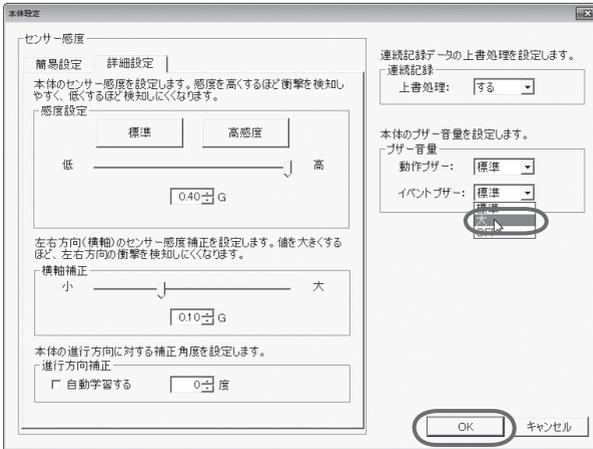
横軸補正は、前後方向（縦軸）には影響しません。

 **ワンポイント**

- 進行方向補正角度について
進行方向のずれは、映像を再生して確認してください。
直進中の減速時のグラフが進行方向に対して左にずれている場合 - 方向に補正してください。また、進行方向に対して右にずれている場合 + 方向に補正してください。



6. ブザー音量を設定します。



映像を記録する時などに鳴る動作ブザー、またはイベントブザーの音量を指定します。

7. [OK] ボタンをクリックします。

SD メモリーカードに設定を保存します。設定値を保存した SD メモリーカードを用いて、次回にエンジンキーをオンしたときに、自動的に値が反映されます。

⚠ 注意

設定変更後は、実際の運転と照らし合わせて、撮れすぎるまたは撮れにくいといったことが無いか確認してください。その際、**危険運転（急発進、急ブレーキ等）は絶対に行わないでください。**

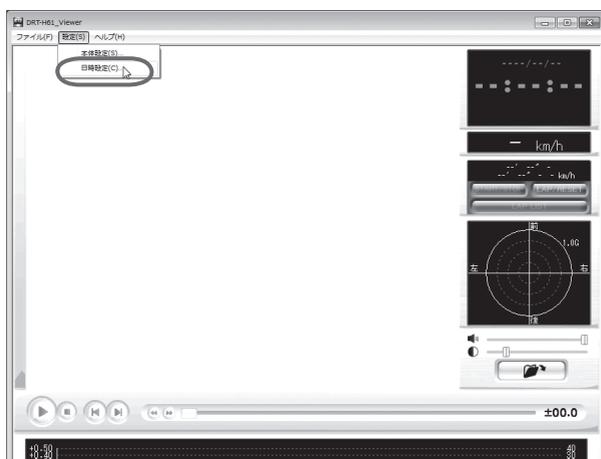
6 本体の日時を修正する

本体では内部に時計を持っており日時を保持していますが、長期間にわたり電源が供給されない状態が続くと日時がずれる場合があります。日時が大幅にずれている場合や日時異常になった場合、以下の手順で日時を修正してください。

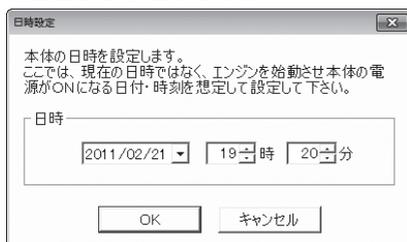
ワンポイント

ご購入直後はずれている可能性がありますので、一度映像を試し撮りして、映像の日時を確認してください。また、定期的に確認してください。

1. 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. ビューアソフトを起動し、メニューの「設定」-「日時設定」を選択します。



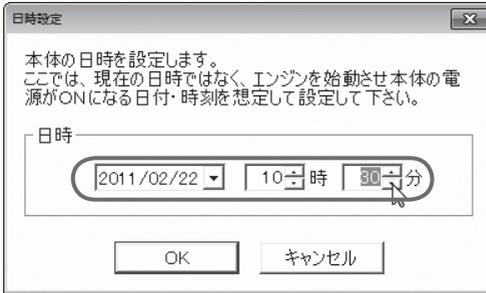
日時設定画面が表示されます。



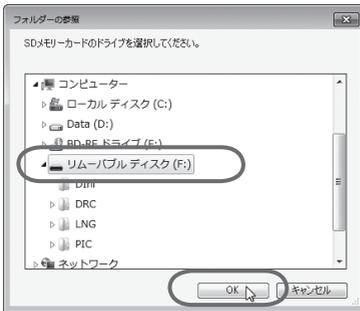
ワンポイント

設定画面に最初に表示されるのはパソコンに内蔵されている時計の時刻です。ドライブレコーダー本体の時計時刻ではありません。

3. 日時を設定します。現在の日時ではなく、次回にエンジンスイッチ「ON」または「ACC」にする日付と時刻を設定してください。



4. [OK] ボタンをクリックします。書き込み先選択ダイアログが表示されるので、書き込み先としてSDメモリーカードを指定し、[OK] ボタンをクリックします。



SDメモリーカードに設定を保存します。設定値を保存したSDメモリーカードを用いて、次回にエンジンキーをオンしたときに、自動的に値が反映されます。

7 SD メモリーカードをフォーマットする

映像を再生したり、映像データをコピーしたりする際にエラーが表示される時は、SD メモリーカードのデータが破損している可能性があります。以下の手順で SD メモリーカードをフォーマットしてください。

注意

- 基本的に SD メモリーカードのフォーマットは必要ありません。SD メモリーカードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本体が起動しない場合のみフォーマットをしてください。
- フォーマットすると、SD メモリーカードのビューアソフトおよび映像データは削除されます。
 - ・ビューアソフトをパソコンに保存していない場合は、ソフトをパソコンに保存してください。また、必要な映像はパソコンへ保存してください。
⇒「ビューアソフトをコピーする」(P.25) 参照
⇒「記録した映像をパソコンに保存する」(P.37) 参照

1. SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する。

SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、専用サイトを参照ください。

(1) Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、専用サイトにアクセスします。URL は下記のとおりです。

<http://www.e-iserv.jp/top/driverrecorder/drt-h61/>

- (2) 使用許諾条件と免責事項をよく読み、「同意する」を選択してください。
- (3) 「SD メモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。
- (4) 記述している手順に従って、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。

2. SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを起動します。

[スタート] → [すべてのプログラム] → [SD Formatter] → [SD Formatter JP] を選択します。

3. [フォーマット] ボタンをクリックします。



⚠ 注意

Drive: 欄が、SD メモリーカードを挿入したドライブになっていることを必ず確認してからフォーマットしてください。

異なるドライブが選択されている場合は、[更新] ボタンをクリックし、SD メモリーカードを挿入したドライブを選択してください。

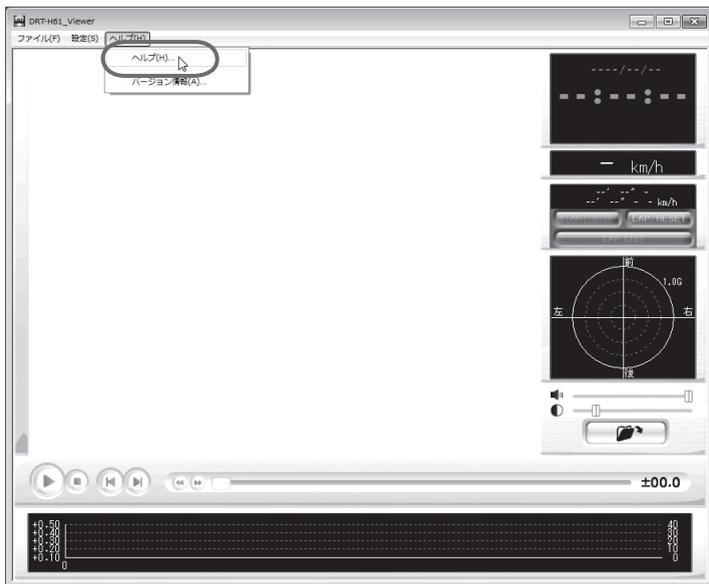
4. フォーマットが終わると、確認ダイアログが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。

5. [終了] ボタンをクリックします。

8 ヘルプを表示する

以下の手順でヘルプを表示します。ヘルプでは画面上の各ボタンの説明を読むことができます。

1. メニューの「ヘルプ」 - 「ヘルプ」を選択します。



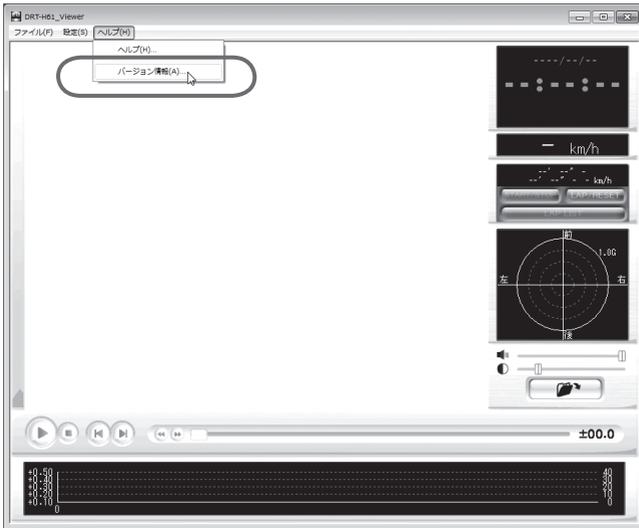
ビューアソフトのヘルプを表示します。



9 バージョン情報を表示する

以下の手順でビューアソフトのバージョン情報を表示します。

1. メニューの「ヘルプ」－「バージョン情報」を選択します。



ビューアソフトのバージョン情報を表示します。



ビューアソフトのバージョンを表示します。

10 ビューアソフトを消してしまった場合

誤ってビューアソフトを消してしまった場合は、専用サイトからビューアソフトをダウンロードしてください。

1. Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、専用サイトにアクセスします。URL は下記の通りです。

<http://www.e-iserv.jp/top/driverrecorder/drt-h61/>

 注意

専用サイトは、2 ヶ月に 1 回程度の割合で、メンテナンスのために 1 日中アクセスできなくなることがあります。予めご了承ください。

2. 使用許諾条件と免責事項をよく読み、「同意する」を選択してください。
3. 表示されたサイトからビューアソフトをダウンロードし、デスクトップに保存します。

■ よくある質問

本体

質問事項	回答
記録した音声小さいのですが？	本体内蔵のマイク（集音部）が覆われるようなところに取付けていないかご確認ください。
車両の電源を入れてもLEDが点灯しない／電源が入らないのですが？	本体に電源が供給されていない可能性がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
カメラが正常に取り付けられたかどうか確認するには？	スイッチを押下して映像が撮影されているかパソコンで確認願います。ビデオ接続している場合は、記録した映像を車載モニターで確認できます。
データを自分で消すことはできるのか？	パソコンからSDメモリーカード内の映像が入ったフォルダを削除することでデータを消すことができます。（P.39）
カーナビとの接続で映像を見ることはできないの？	別売キットを使うと、映像・画像をナビゲーションの画面で見ることができますが、音声の確認および本体の設定を変更するためにはパソコンが必要です。
ブラインドコーナーモニター、バックガイドモニターの映像を残すことはできないの？	ブラインドコーナーモニター、バックガイドモニターと接続することも、ブラインドコーナーモニター、バックガイドモニターの映像を記録することもできません。
ブザーが小さくて聞こえないのですが、大きくできないの？	音量設定画面（P.24）、またはビューアソフト（P.41）で音量を変更できます。
事故の衝撃でバッテリーが外れても記録できますか？	事故の衝撃でバッテリーが外れることを想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源により、電源遮断前※の映像を記録しますが、必ず、記録することを保証するものではありません。 ※映像のフレーム数を落としています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップできない場合があります。
専用のSDメモリーカードが壊れたけどどうすればいいですか？	SDメモリーカードのフォーマットを行ってください。（P.48）市販のSDメモリーカードをご購入されても、正常に動作しませんのでご注意ください。
事故で壊れた場合、修理はしてもらえるの？	事故などで強い衝撃を受けて壊れた場合は、部品故障の発生が懸念され、修理後の品質保証ができませんので、修理をお受けすることはできません。
記録時間を変更したいんですけど？	イベント記録の記録時間は検知前12秒、検知後8秒と固定されているため、変更できません。連続記録は最長60分まで記録でき、連続記録動作中に記録スイッチ（+ボタン）を3秒以上押し続けることによって、60分以内の範囲で記録時間の調整が可能です。

質問事項	回答
記録したはずの映像がないんだけど？	記録できる映像はオート記録 10 件、マニュアル記録 5 件、連続記録は最長 60 分(上書きを「する」場合)です。(P.15、P.17)これを越える場合は、古いものから上書き保存していきますので、必要に応じて、SD メモリーカードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。また、SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている場合も保存されません。
映像が記録されすぎるのですか？	ビューアソフトでセンサー感度を調整する (P.41) ことができます。解決しない場合は、オフセット設定の必要があるため、お買い上げの販売店にご相談ください。
信号の色が記録されないことがあるけど故障？	映像の記録周期と LED 方式の信号の周期によっては、一瞬信号が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
エンジンを切っても電源が切れないんですけど？	お買い上げの販売店にご相談ください。
本体が起動しないのですが？	専用の SD メモリーカードは挿入されていますか？ SD メモリーカードが挿入されていない時は、SD メモリーカードを挿入してください。SD メモリーカードが挿入されているにも関わらず本体が起動しない場合は、SD メモリーカードの異常が考えられます。SD メモリーカードのフォーマットを行ってください。(P.48)
SD メモリーカードに、映像が記録できないのですが？	次の理由により正常に動作していない可能性がありますので、ご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ SD メモリーカードに異常はありませんか？異常がある場合は、SD メモリーカードのフォーマットを行ってください。(P.48) ・ 付属の SD メモリーカードを使用していますか？市販の SD メモリーカードは使用できません。 ・ SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」されていませんか？「LOCK」されている場合は解除してください。
再生モード、設定モードに切り替わらないのですが？	本機には車速信号を検知する機能が内蔵されており、本体が車速信号を検知すると自動的に記録モードに切り替わります。再生モードおよび設定モードをご使用の際は、必ず車両を停止させてから切り替えてください。

ビューアソフト

質問事項	回答
パソコンを持っていませんが見ることができますか？	別売キットを使うと映像・画像を車載モニターで見ることができますが、音声の確認および本体の設定を変更するためにはパソコンが必要です。
事故を起こした際、自分に不利な映像でも相手に提出しなければいけない？	提出する義務はありません。
ビューアソフトで記録日時（検知種別）が表示されず、「映像情報が欠落している・・・」と表示されたんですが？	本体は、検知日時や検知種別などの情報データを、映像と共にSDメモリーカードに記録しますが、データ書き込み中のSDメモリーカード抜けや、電源断などの原因により、情報データが正しく書き込めなかった場合に表示されます。
イベント記録時間が20秒未満のデータがありますが、これは故障ですか？	映像をSDメモリーカードに記録している時間（20秒）の直後に新たな記録検知が発生した場合、二つ目の映像の記録時間が20秒未満になる場合があります。故障ではありません。
イベント記録時間が20秒以上のデータがありますが、これは故障ですか？	映像をSDメモリーカードに記録している時間（20秒）の間に新たな記録検知が発生した場合、映像の記録時間が延長されて20秒以上になる場合があります。故障ではありません。
記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
パソコンのOSがWindows 98、ME、Windows 2000ですが映像は見るできますか？	見ることはできません。対応OSはWindows XP（SP3以降 32ビット版のみ）、Windows Vista（SP2以降）およびWindows 7、Windows 8です。それ以外のOSでは、ビューアソフトは起動しても再生が正しく行われなことがあります。
古いパソコンを使っていますが、新しいパソコンは必要ですか？	Windows XP、Windows Vista および Windows 7、Windows 8 のOSが快適に動作するパソコンであれば、新しいパソコンは必ずしも必要ではありません。
記録した映像は、Windows Media Player等の汎用ソフトで見ることはできますか？	できません。付属のビューアソフトでのみ再生が可能です。
ビューアソフトを消してしまいました。	ビューアソフトはSDメモリーカードの中に入っています。SDメモリーカードからデスクトップにコピーしてください。また、専用サイトからもダウンロードが可能です。 ⇒「ビューアソフトを消してしまった場合」(P.52) 参照。
パソコンにSDメモリーカードを挿入しても認識しないんですが？	SDメモリーカードが正しく挿入されていない可能性があります。再度SDメモリーカードを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識できていない可能性もあります。カードリーダー付属の説明書を参照してください。

質問事項	回答
ビューアソフトが起動しないのですが？	お使いのパソコンの OS は Windows XP (SP3 以降)、Windows Vista (SP2 以降) または Windows 7、Windows 8 ですか？ビューアソフトは、Windows XP より古い OS や、Mac や Linux など他の OS では起動しません。もし、OS が正しいにも関わらず起動しない場合は、ビューアソフトのファイルが壊れている可能性がありますので、専用サイトからダウンロードしてください。 ⇒「ビューアソフトを消してしまった場合」(P.52) 参照。
再生ボタンを押しても、映像の再生が始まらないのですが？	再度フォルダを開いて、再生を行ってください。それでも再生されない場合は、映像ファイルが壊れている可能性があります。ファイルが壊れた場合、再生はできませんので、フォルダごと削除してください。フォルダを削除できない場合は、SD メモリーカードのフォーマットを行ってください。(P.48)
再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ないのですが？	ビューアソフトの音量設定が最小になっていませんか？設定をご確認ください。(P.30) また、パソコン側の音量設定が最小になっていないか、ご確認ください。設定を変更しても音が出ない場合、本体内蔵のマイク(集音部)が覆われるようなところに取り付けしていないかご確認ください。
本体設定画面を開くと「設定ファイルを読み込めません」との警告が表示されるのですが？	本体設定画面を開く時には、本体が実際に動作していた時の設定記録ファイルを SD メモリーカードから読み込みます。ご購入直後は、このファイルが存在しません。その場合、左記警告が表示されますが問題はありません。そのまま OK ボタンを押してください。
本体設定画面でセンサー感度を変更して書き込みをしましたが、値が変更されていないようなのですが？	設定変更をした後、再度、設定画面を開いても変更内容は反映されません。ただし、設定を変更するためのファイルは更新されています。故障ではありません。設定変更をした後、SD メモリーカードを車載機本体に挿入して起動させることで、設定内容は反映されます。
本体設定画面で音量を変更して書き込みをしましたが、値が変更されていないようなのですが？	設定変更をした後、再度、設定画面を開いても変更内容は反映されません。ただし、設定を変更するためのファイルは更新されています。故障ではありません。設定変更をした後、SD メモリーカードを車載機本体に挿入して起動させることで、設定内容は反映されます。
イベント記録について、記録開始から記録検知まで 11 秒や 13 秒の映像があるのですが？	記録のタイミングとミリ秒単位の誤差により、見かけ上 11 秒や 13 秒になる場合があります。
再生時に映像が乱れたり音声途切れたりするのですが？	ビューアソフトを終了させ、再度ビューアソフトを起動して映像を再生してください。

* アフターサービスについて

■トヨタ純正 ドライブレコーダー

●保証について

1) 保証の内容

トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場にてトヨタ車にお取り付けしたトヨタ純正商品に材料、又は製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。

(以下、この無償修理を保証修理といいます。)

保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取外した不具合部品はトヨタの所有となります。

2) 保証の期間、受け方

① 保証の期間

保証修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取り付けした日をご使用開始日として起算し3年間とします。ただし、その期間内でも走行距離が60,000kmまでとします。

② 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。

3) 保証しない事項

① 保証期間内でも、下記に起因する不具合は保証修理いたしません。

- ・ トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場以外での取付け、修理およびトヨタが認めていない改造など
- ・ 取扱書に示す取扱い方法と異なる使用および不適切な保管などおよび地震、台風、水害などの天災並びに事故、火災

② 次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・ 消耗部品および油脂類など（ヒューズ、各種電球など）
- ・ 商品を使用できなかった事による不便さおよび損失など

4) 保証の適用

日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

5) その他

保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

●補修用性能部品の最低保有期間

このドライブレコーダーの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

●アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください

■仕様

本体

項目	仕様
動作温度範囲	- 20 ~ + 65℃ ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	- 30 ~ + 85℃ ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
電源電圧	10 V ~ 32 V
消費電流	最大 1 A 以下
外形寸法	横幅 113mm × 高さ 20mm × 奥行 70mm (突起部を除く)
質量	約 100 g
映像記録時間	イベント記録：20 秒 (衝撃検知前 12 秒、検知後：8 秒) 連続記録：最長 60 分
映像フレーム数	イベント記録：30 フレーム/秒 連続記録：10 フレーム/秒
記録可能件数	オート記録 10 件 マニュアル記録 5 件 画像記録 最大 600 件
時計精度	月差 13 秒
ナビゲーション画面への映像出力	NTSC (別売キットが必要)

カメラ

項目	仕様
動作温度範囲	- 20 ~ + 65℃ ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	- 30 ~ + 85℃ ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
供給電圧	5.1 V
消費電流	最大 120 mA
外形寸法	横幅 27mm × 高さ 22mm × 奥行 24mm (背面突起物を除く)
質量	約 30 g (ケーブルを除く)
撮像素子	1/4 型カラー CMOS
有効画素数	約 31 万画素
水平解像度	300 TV本 (中心部)
画角	水平 135° × 垂直 105°